雷雲および雷放電と二次宇宙線の関係を調べるため、宇宙線空気シャワーを検出するミニアレイと100keVから100MeVまでのガンマ線検出器など乗鞍観測所に設置した。観測は7月31日から9月9日の約41日間行うことができた。この間周辺で落雷イベントは報告されていないが、雷雲通過は何度かあった様子である。現在、雷雲通過時のデータの解析を進めている。